



第25号

発行 弘前大学教育学部同窓会
〒036-8560 弘前市大字文京町1
TEL. 0172 (36) 2111代表
編集事務局
弘前市学園町1の1
弘前大学教育学部附属中学校内
TEL. 0172 (32) 7201



「あすなろ」第二十五号に思う

弘前大学教育学部同窓会 会長 木村清之助

今年の弘前の雪は例年より多く、除雪に苦労しておりますが、会員の皆様如何お過ごしでしょうか。さて、母校の発展と会員の親睦を願って発刊した「あすなろ」が二十五周年を迎えるに至りました。これまで継続できたのも、編集を担当された委員の方々が日常の業務の間を縫って、大変なご苦労をしながらやって下さったお陰です。改めて感謝申し上げます。

登校は現在も多く見られますが、質的に大きく変化しているようです。それは、「学校へ行かないのも選択の一つ」というような評論家の出現に代表されるように、わが国の学校制度発足以来の、「学校は誰も必ず行く所」という共通認識が崩壊してきたことによるところが大きいようです。

るだろう、ということですが、いよいよ新世紀を迎えて間もない現在ですが、世界を見てもこれまでにない戦争の形態、経済のグローバル化など大きな変化がもう始まっています。国内の教育界を見ますと、これもまた大きな怒濤が押し寄せています。しかし、時代の変化に対応する教育は当然ですが、教育の基本理念である「教育は、人格の完成をめざす」という不易を見失わないようにしたいものです。そして子ども一人ひとりが、自分の羅針盤をしっかりと身につけ、自分の人生の主人公は自分である、という気概をもって荒海に船出できるように、教育に求められているように思います。



教育学部は元気です

教育学部長 佐藤 三三三

秋田大学や岩手大学の教育学部との再編・統合問題や大学の法人化をめぐる諸問題等、教育学部をめぐって難題・難問が山積しておりますが、附属四校園の知恵と力もお借りして、元気で頑張っております。

大学内における教育学部の位置を確固としたものにする努力も不可欠です。

そこで、教育学部は、着実にその努力を重ねております。

第一に、教員及び生涯教育専門職員の養成活動を批判的に検証し、常に合目的なカリキュラムと教員組織のあり方の提示を任務とする「教員養成学研究開発センター」を、学部内措置によって昨年十月に設置しました。

第二に、理想とする教員・教育専門職員像を、「児童生徒・成人に働きかけ、読みとり、働きかけ返す力をもつ教育プロフェッショナル」と定めました。

第三に、臨床心理士1種指定大学院の申請を致しました。

第四に、弘前大学における教育学部の位置を確固なものとするために、人文等の他学部の教職を志す学生に対しても、教育学部が責任を持つことにしました。

第五に、現職教員に対する研修機能を強化しました。教員の生涯学習を支援する目的です。第六に、年間を通して教育実習を行う「恒常的教育実習」の導入を検討しています。第七に、附属学校園の改革を、「ユニバーサル・スクール構想」として進めています。どうぞ、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

これまでの教育学部は、どこでもそうでしたが、他との違いをほとんど意識しませんでした。しかし、少子化の波が大学にも及び、受験生の争奪に大学存亡の命運がかかるであろうことが切迫している今、他との差異化に全精力を注がねばならなくなっております。また、大学内においても学部間の競争が激しくなると予想される今、



国立大学法人化と教育学部

評議員 星野英興

この原稿を認めている平成十六年二月九日の時点で、教育学部のある文京町キャンパスでは、正門がビニールシートで覆われ、歩道の付け替え、自転車置き場の移設・新設等、各種工事が進行中です。これらの変貌は、独立法人化に向けての「外面の変化」といえるかもしれません。

平成十六年四月一日をもって、五十年余の歴史を有する「国立弘前大学」は、「独立法人弘前大学」が運営する「弘前大学」に変わります。

法人化に伴う最大の変化は、大学が策定・提出する「中期目標・中期計画」通りの成果が得られたか否かが厳しく査定・評価され、その評価いかんで、文部科学省から大学への運営費交付金の額が変動することであり、計画通りかそれ以上に成果が上がれば、それ以前に比べて運営費交付金は増加します。このことは、これまではなかった「効率化」が問われることを意味します。

ここでは、我々が掲げる「中期目標・中期計画」に沿って、法人化後における教育学部の「内面的変化」を述べてみます。

これまで北東北における国立三大学の教育学部再編統合を検討してきた過程で、我々は「児童生徒に働きかけ、読みとり、働きかけ返す力をもつ教育の専門家の養成」

名実ともに真の「教員養成学部」たりうる基礎固めを目指します。

大学院では、「臨床心理士」養成の第一種認定獲得に向けての整備を終えました。併せて、「心理臨床相談室」が新設され、心理療法の心理面接、教育相談が行われます。

教育学部附属教育実践総合センターには、「リカレント教育推進部門」が設けられました。小・中・高等学校における授業・実験・活動等の「ジョイント講座」、高等・大学連携授業など、地域との連携を重視した活動が促進されます。

法人化後の附属学校園は、教育学部との連携・協力を一層強化し、新カリキュラムを実証・検証するための研究教育活動を推進する「附属ユニバーサル・スクール」となります。そのもとで、附属学校園を「一貫教育で一体化」し、地域における先導的実験校の役割を果たすことを目指します。なお、法人化後も、青森県内の公立学校と附属学校の人事交流は滞りなく実施されます。

以上述べました事項は、教育学部を構成する教員・職員及び附属学校教員各位の理解と協力のもと、実行されていきます。

卒業生の皆さん。大学院生、学部学生、新入学の院生及び学生の皆さん。法人化後における教育学部の「内面的変化」を、共に手を携えて、推し進めて頂けるよう切望してやみません。

平成十六年度からは、教育学部が、弘前大学全体の教員養成を担当実施の準備に取り掛かります。このことを通して、教育学部が、



教育関係の方々へ放送大学

放送大学青森学習センター所長 水野裕

皆さん、放送大学とはどんな大学かご存じですか？よく一般市民の方々に聞くと「NHKの大学？」とか「アナウンサー養成の大学？」とかの答えが返ってきます。でもこれは間違いです。放送大学は文部科学省と総務省が所管する正規の通信制大学です。全国民に開かれた大学教育を行うことを目指して、テレビ・ラジオの放送を利用した新しいタイプの大学として昭和五十八年に設置されました。大学本部は千葉市（幕張）にあり、全国に五十の学習センターと六カ所のサテライトスペースが設置されています。昭和六十年に学生受入れを開始し、今年で十九年目になります。平成十四年四月からは大学院生も受入れており、現在の学生数は学部と大学院合わせて全国で約十万人です。青森学習センターは平成五年に設置され、現在、弘前市の弘前大学構内にあります。これまでに延べ約一万二千人の方が在籍し、平成十五年度第二学期現在の学生数は、平成十四年に八戸市に設置された八戸サテライトスペース所属学生を含めて約九百人です。

さて、放送大学には数多くの特長がありますが、現職教員の方々に関係あるものを挙げると、上位の教育免許や他教科等の教員免許状（特殊教育諸学校の教員免許状を含む）取得に利用できる点で

す。また、大学院開講科目は専修免許状の取得にも利用でき、これまでも多くの現職教員の方々が放送大学を利用して専修免許状を取得しています。すなわち、各都道府県教育委員会が行う「教育職員検定」に必要な単位の一部として放送大学開講科目が認定されているからです。このほか、学校図書館司書教諭の資格取得も可能です。放送授業の視聴ですから勤務を休むことなく、マイペースで自宅学習ができ、現職教員の方々には大変便利な教育システムと言えます。現在、学校の教師には豊かな人間性と専門的な知識・技術や幅広い教養を基盤とする実践的な指導力が求められています。この機会にぜひ放送大学を利用されることをお勧めします。

◎募集要項・大学案内・授業科目案内等を無料でお送りします。

★資料請求・問い合わせ
青森学習センター 千036-8560 弘前市文京町1
(弘前大学50周年記念会館内)
電話0172-38-0500

八戸サテライトスペース 千039-1102 八戸市一番町1-9-2
(ユートリー内)
電話0178-70-1663

★放送大学ホームページからも請求できます。
<http://www.u-air.ac.jp/hp>

新カリキュラムを実施します 学校臨床科目を充実します

教員養成学部の使命

基本構想委員長 矢島忠夫



教員養成学部の再編統合の問題は、単に、何処の大学が生き残る

のか、何処の学部が廃止されるのかという問題ではありません。教員養成学部が教員養成学部として、その使命を十分に発揮してきたかどうかが問われたのです。そして、その答えは、否定的でした。

それでは、「大学における教員養成」と国の計画養成をになう「教員養成学部」それ自体を廃止するのがよいのか、そこまで問うて、「イヤ、そうではない、やはり必要だ」、「今こそ教員養成学部による本来の使命を発揮してもらいたい」と言うのが、「あり方懇」の結論でした。

しかし、現在のままの教育学部に、その課題のすべてを達成することを求めることはできない。だが、いたずらに教育学部の規模を拡大することも許されない。教員養成学部が果たすべき本来の使命を達成するためにスタッフの充実が必要なら、いくつかの学部が協力したらよい。それが、再編統合の真の意味だった、と考えられます。

ですから、ただ「残そう」、ただ「守ろう」、というだけでは、この課題に真に立ち向かったことにはなりません。

弘前大学教育学部は、北東北3大学教員養成系学部の再編統合問題に、真つ正面から取り組み、新しい教員養成学部を「創り出す」ための提案を行い、確かな評価を得て来ましたが、再編統合は、一時休止ですが、今や、この提案を、実現する時です。

これまでの教員養成学部に向けたことは、大学の教員養成活動そのものを研究対象として、その改善のための方策を自ら提案し、この反省に基づいて、わたしたちは、「教員養成の在り方を不断に改善する理論的実践的研究」を推進する「教員養成学研究開発センター」を平成十五年度から学部内措置として設置しました。

これまでの教員養成学部に向けたことは、大学で学んだことが実際の教育現場でどのように有効に働くことができるかを検証し、それをもとに再び学び直しを発展させることができるようなカリキュラム・システムです。

この反省に基づいて、わたしたちは、教員養成カリキュラムの基本方針を、「児童生徒に働きかけ、読みとり、働きかけ返す力をもつ教育プロフェッショナルの養成ー児童生徒の確かな学力と自律性を育てるためにー」と定めました。

これは、学生が、①「自己形成科目群」(児童生徒に働きかける力をつける科目群)、②「学校臨床科目群」(児童生徒に働きかけ、読みとり、働きかけ返す力をつける科目群)、③「教員発展科目群」(児童生徒に働きかける力を作りかえる科目群)を、一つのサイクルとして繰り返し循環するなかで教員として発展して行くことを目指すプログラムで、平成十六年度入学から徐々に実施していく予定です。

教育実習も、短期集中、教壇実習中心から、長期恒常的、生活臨床実習重視へと転換します。卒業要件の五単位の実習は三年次にすべて附属学校園で終了し、実習成績優秀で教員志望の強い学生のみ四年次に協力校でのインターンシップ実習を受講させることも計画されています。

また、平成十七年度から全学の教員養成を責任をもって担当する準備も進めています。



平成十六年度の教員採用試験について



教育学部就職対策委員会 委員長 鎌田耕太郎

教員採用試験の結果

平成十六年一月末現在、教員採用試験の合格者は合計で三十五名です。その内訳は県内が八名で県外が二十七名です。県外合格者は一昨年から北海道の合格者が減っています。全国的な傾向として首都圏や京阪神での採用者数の増加が続いており、千葉県(五名)、神奈川県(四名)、東京都(三名)、横浜市(三名)となっています。今後地元志向に拘らない受験結果を勧める必要があります。

青森県採用試験の結果

平成十六年度青森県採用試験の募集人員は百八十五名に対し、合格者は百七十八名でした。本学部関係の五十七名の合格者の内、新規卒業者は今年も減り八名(大学院一名含む)です。校種別では小学校四名、中学校三名、養護教諭一名です。

文部科学省が取りまとめた国立の教員養成大学・学部(教員養成課程)の就職状況資料(平成十五年三月卒業)により、弘大(教育)は、新規卒業者の教員就職率では山形大や山梨大とともに四十八校中ワースト四です。正規採用率では上から二十五番目ですが、臨時採用数が極端に少ないために、両者を合計するとそのよ

うなランクとなります。同様の傾向は、教員養成課程の定員が多い地方の大学に共通して見られます。青森県の合格者に占める本学部出身者の割合は、ここ三年の間に上向いて来ていますが、採用数が急減していることの影響が大きいのです。

当就職対策委員会としても、年度毎の結果を分析し、委員会構成のメンバーを中心にいっそう強力な採用試験対策に取り組んでおります。従来四年次学生に実施していた教採特別講座では実践力や意識形成が不十分なので、昨年から年度後半から三年次生を対象に開講するよう時期を早めました。さらに今年度は一年次生向け、二年次生向けに「教職入門」の講話や、同窓会員の奥崎隆浦町小学校長を講師に「教員をめざす学生に何を求めるか」の講演を実施し、早くからの自己啓発を促すよう具体策を講じています。平成十六年度からは二十一世紀教育科目の中で一年生を対象に「キャリア教育」が開講されます。ここでは一回分を伊奈かつべい氏や各界で活躍している学外講師を振り当て、職業人との直接した講義を通して職業意識の形成などに取り組み予定です。一般企業向けにも各学部で立案された「合同企業説明会」が二月十三日に同時開催されます。また全学組織として学生就職支援センター(仮称)が開設され、従来にもまして充実した取組、支援がなされようとしています。

平成14年度決算

(14.4.1~15.3.31)

Table with 4 columns: 収入の部, 14年度予算, 14年度決算, 備考. Rows include 会費, 繰越金, 雑収入, 計.

Table with 4 columns: 支出の部, 14年度予算, 14年度決算, 備考. Rows include 総会費, 評議会費, 支部活動費, 会費徴収費, 通信費, 就職対策費, 外部評価関係経費, 再編・統合関連経費, 特別対策費, 教育開発活性化経費, 卒業祝賀会費, 会報, 新会員名簿印刷費, 全学同窓会費, 基金, 事務費, 事務局費, 雑費, 計.

平成15年度予算

(15.4.1~16.3.31)

Table with 4 columns: 収入の部, 14年度決算, 15年度予算, 備考. Rows include 会費, 繰越金, 雑収入, 計.

Table with 4 columns: 支出の部, 14年度決算, 15年度予算, 備考. Rows include 総会費, 評議会費, 支部活動費, 会費徴収費, 通信費, 就職対策費, 外部評価関係経費, 再編・統合関連経費, 特別対策費, 教育開発活性化経費, 卒業祝賀会費, 会報, 新会員名簿印刷費, 全学同窓会費, 基金, 事務費, 事務局費, 雑費, 計.

庶務報告

- 14. 4. 30 同窓会費納入依頼 (1)
14. 6. 8 平成14年度総会
14. 12. 21 同窓会費納入依頼 (2)
15. 3. 1 会報「あすなろ24号」発行
15. 3. 24 弘前大学卒業式・祝賀会
15. 5. 28 平成15年度総会案内状発送
15. 6. 7 事務局打ち合わせ
15. 6. 7 会計監査

☆教育学部(厚生係・会計係)との事務連絡は随時

平成十五年度弘前大学教育学部同窓会定時総会は、平成十五年六月十四日(土)午後二時よりプラザホテルにおいて開催されました。当日の参加者は三十三名でしたが、笹森義男前弘前市立第二中学校長の議事進行により活発な話し合いがなされました。その中で、北東北三大学の再編・統合は一時凍結状態で、主担当になるべく施策を講じており、よい感触を得ているが、同窓会がどのような支援ができるか考慮し、協力を惜しまないこと。また、同窓会費の未納者が増えており、今後の運営に不安を感じていること等が話題になりました。

平成十五年度 弘前大学教育学部同窓会 定時総会報告

事業計画

- 1. 総会
2. 教員採用試験の援助活動
3. 会報「あすなろ25号」発行
4. 教育実習反省会
5. 弘前大学卒業式・祝賀会
6. その他

特別会計基金 (1年定期預金)

青森銀行 10,018,373+ 3,206=10,021,579円 (預金利息)
みちのく銀行 9,107,226+ 2,193= 9,109,419円

平成十五年度役員

- 名誉会長 佐藤 三三 (教育学部長)
顧問 齋藤 善三 (弘前市)
副会長 木村 清之助 (青森市)
会長 佐々木 良夫 (八戸市)
支部長 笹森 義男 (弘前市)
1. 弘前・中部支部 横山 岩雄 (猿賀小)
2. 黒石・南部支部 鶴谷 雪子 (梅沢小)
3. 五所川原・北部支部 鶴谷 雪子 (梅沢小)
4. 青森・東部支部 政勝 (永田小)
5. 青森・東部支部 政勝 (永田小)
6. 八戸・三戸支部 奈良 年永 (青森山田)
7. 三沢・十和田・上北支部 沢田 明久 (白銀南小)
8. 三沢・十和田・上北支部 梅田 真規 (堀口中)
9. 弘前大学教育学部支部 布施 勝大 (大湊中)
10. 弘前大学教育学部支部 鎌田 耕太郎 (教育学部)
11. その他の地区支部
12. 評議員 弘前・中部支部
13. 小野 慎亮 (弘前市)
14. 今泉 徹三 (弘前市)
15. 赤岡 和夫 (弘前市)
16. 高岡 弘實 (弘前市)
17. 鈴木 忠蔵 (弘前市)
18. 佐藤 哲夫 (弘前市)
19. 阿藤 代治 (弘前市)
20. 松田 千代 (弘前市)
21. 相馬 正栄 (碓ヶ関村)
22. 黒石・南部支部
23. 秋田 豊 (弘前市)
24. 奥田 幸三 (弘前市)
25. 花田 欣一 (岩手町)
26. 栗林 兼義 (田舎館村)
27. 福士 義一 (平賀町)
28. 小笠原 信明 (弘前市)
29. 小野 信博 (北郷小)
30. 花野 茂樹 (北郷小)
31. 五所川原・北部支部 加藤 修司 (小阿弥小)
32. 小田川 啓三 (喜良市小)
33. 金崎 和生 (水元小)
34. 大崎 和生 (水元小)
35. 宮崎 和生 (水元小)
36. 阿部 正弘 (飯詰小)
37. 西田 健一 (西海小)
38. 西崎 正二 (深浦小)
39. 高橋 志一 (木造町)
40. 三上 健之助 (柏小)
41. 三上 健之助 (柏小)
42. 木村 研二 (森田小)
43. 青森・東部支部 吉田 秀一 (東青教育事務所)
44. 須藤 努 (金沢小)
45. 種田 龍雄 (沖館中)
46. 戸来 暁子 (若菜養護学校)
47. 八戸・三戸支部 成田 誠二 (八戸市)
48. 小松 史明 (八戸市)
49. 関根 建夫 (三戸町)
50. 斎藤 正栄 (田子中)
51. 斎藤 正栄 (田子中)
52. 菊池 秀悦 (三戸中)
53. 菊池 秀悦 (三戸中)
54. 小林 吉春 (江南小)
55. 高橋 信夫 (柏崎小)
56. 三沢・十和田・上北支部 山田 誠司 (三沢市)
57. 山田 繁雄 (十和田小)
58. 岩村 義明 (十和田中)
59. 永瀬 俊明 (十和田中)
60. 石坂 敏夫 (三沢市)
61. 廣野 雅美 (上北中)
62. 川村 せつ子 (古閑木小)
63. 川村 周治 (上北教育事務所)
64. 福士 淳一 (南部中)
65. 福士 淳一 (大畑小)
66. 奈良 光男 (第二田名部小)
67. 竹浪 和夫 (尻労小)
68. 土岐 勝 (尻労小)
69. 工藤 魏 (尻労小)
70. 石川 貞吉 (むつ市)
71. 弘前大学教育学部支部 常任委員 大湯 由香利 (附属中)
72. 相馬 昭彦 (附属中)
73. 工藤 昭彦 (附属中)
74. 伊藤 昭彦 (附属中)
75. 奈良 誠一 (附属中)